



芝生化1年目の学校

いきいきのびのび、芝生化して子供たちの遊びが大きく変化しました。

瑞穂町立瑞穂第一小学校

児童数：394名(平成28年5月1日現在)
芝生化面積：4,193㎡
芝生が完成した時期：平成27年度

芝生化のきっかけ

瑞穂町では、自然保護と温暖化防止のために校庭の芝生化を推進しています。瑞穂第一小学校は住宅地に囲まれた場所にあるため、環境面や教育上の効果に加えて、砂ぼこり対策や近隣住民の皆さんと連携した活動の充実などの期待もあり、芝生化を行いました。

今後の活用について

芝生化して新たに取り組んだことに、はだして行うダンスがあります。芝生の感触をじかに楽しみながら、緑一面の芝生の上で行うダンスは見応えがあります。来年度以降も体育や休み時間、たてわり班の活動、さらにはオリンピック・パラリンピック教育の一環として芝生を活用した企画を考えていきたいと思っています。



芝生化して変化したこと

子供たちの遊びが大きく変わりました。寝転がったり、でんぐり返しや逆立ちをしたり、教職員と相撲をしたり、転んでも倒れてもけがをする心配がない芝生の校庭だからこそ、いきいきのびのびした子供たちの姿が見られます。砂地のときより校庭で遊ぶ子供たちが確実に増えました。芝生の香りと感触を全身で味わっています。



小林源久 校長

ビオトープと芝生の相乗効果でゆとりの空間が生まれました。

世田谷区立三宿中学校

生徒数：356名(平成28年5月1日現在)
芝生化面積：1,294㎡
芝生が完成した時期：平成27年度

維持管理について

日常の手入れは、PTAの方々、生徒、学校の教職員で協力して行う体制を整えています。生徒たちは部活動終了後や体育委員会活動時に、手動式の芝刈り機を使って芝刈りをしたり、雑草取りを行っています。

さらに平成27年度に芝生が完成したことで、ビオトープと芝生の相乗効果が生まれ、生徒たちのゆとりのスペースとなっています。

今後の活用について

保健体育の授業やサッカー部、地域の陸上教室で活用する他、ボランティアによる生物の観察会をビオトープと芝生の上で行いました。オリンピック・パラリンピック教育推進重点校として、芝生を活用し、スポーツ志向の向上を目指す企画を考えていきたいと思っています。



三宿中学校は野芝を取り入れています。ゆっくり成長する野芝と相性が比較的良いとされる冬芝の種をまいてみました。

その結果、青々とした冬芝が生え、冬になっても芝生エンジョイデーや部活動で活用できました。

ビオトープと芝生の相乗効果

三宿中学校には、井戸水を利用したビオトープがあり、今では貴重となった在来種のメダカをはじめ、約16種の生き物が生息しています。ビオトープの周りには桜やモミジ、藤棚などがあり、



牧野英一 校長